

【和歌山城 せみのぬけがら調査結果】

	クマゼミ	アブラゼミ	ニイニイゼミ	ツクツクボウシ	ミンミンゼミ	合計	参加者数
2005.8.6	98	287	4	3	0	392	21
2006.8.5	196	283	2	2	0	483	26
2007.8.12	97	405	0	0	0	502	33
2008.8.10	145	513	2	2	0	662	32
2009.8.9	38	141	0	0	0	179	24
2010.8.8	168	532	3	1	0	704	45
2011.8.13	144	513	2	0	0	659	51
2012.8.12	169	343	1	0	0	513	58
2013.8.11	115	238	2	0	0	355	35
中止	-	-	-	-	-	-	-
2015.8.9	65	196	2	0	0	263	28
2016.8.7	241	436	5	0	0	682	33
2017.8.6	350	178	2	2	0	532	34
2018.8.4	415	387	1	2	0	805	43

こども科学館では、和歌山城の決まった場所でせみのぬけがらの調査を毎年しています。上の表から、

①クマゼミとアブラゼミのぬけがらが多い。

②2017年からクマゼミのぬけがらの方がアブラゼミのぬけがらより多くなっている。

ということがわかります。この情報だけで言い切ることはできませんが、**乾燥した暑いところでも生活できるクマゼミの増**

加から『和歌山市の都市化が進んできたのでは！？』と考えることができます。みなさんの周りではいかがでしょうか？